

新潟大学 倫理審査委員会 オプトアウト書式

①研究課題名	ウェルビーイング健診の効果に関する研究-体力測定を中心とした壮年期から高齢者に対する新しい健診の有用性について-
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	
<p>対象者は、50 歳以上で、2022 年度と 2023 年度、連続して新潟県労働衛生医学協会の人間ドックを受診された人と、2023 年度に新潟県労働衛生医学協会の人間ドックにてウェルビーイング健診を受診され、2024 年度も人間ドックを受けた人です。</p> <p>対象期間は、ウェルビーイング健診参加者に関しては 2023 年度から 2024 年度です。しかし、解析するデータは、遡って 2022 年度から 2024 年度になります。</p>	
③概要	
<p>日本人の平均余命の推移を見ると、世界の中でも最も高い水準を示し、今後も更に延伸することが予想されます。それに伴い、日本は超高齢化社会となり、フレイル、ロコモ、サルコペニアが問題となってきています。例えば、変形性膝関節症がありロコモティブシンドローム状態に陥り、日常生活にも支障が生じます。それに伴い、筋肉萎縮が起こりサルコペニアの状態となり、ヒトは虚弱つまりフレイルに陥っていくものと思われます。この悪循環を断ち切るために、ロコモ度テストの概念を含んだウェルビーイング健診を通して、体力や関節の状態を正確に評価し、本人の気づきにつなぎ、正しい運動習慣を指導出来るかどうかが重要となっています。また、フレイルへの悪循環には低栄養も関与しており、これも筋肉萎縮並びに痩せの原因となり、最終的にフレイルへと連なっています。そして、栄養を摂取するという意味においては、歯科検診も重要であり、歯周病予防、最終的にはオーラルフレイルの予防が重要となります。</p> <p>ウェルビーイング健診とは、問診と体力測定を行い、運動不足の人や痩せている人に気づきの機会を与え、運動指導や食事指導によって、運動習慣を身につけて、適切な体重になってもらう事を目標としている健診です。</p> <p>そこで、ウェルビーイング健診に参加された人が、翌年運動習慣が身についているか、血圧、脂質、糖質の検査値が改善するか、体重や BMI が痩せた人は少し上昇し、肥満者は改善するのかなどを、ウェルビーイング健診導入前の人間ドックデータを比較します。そのため、人間ドックのデータを個人が特定できる情報を全て削除して、新潟大学大学院生活習慣病予防・健診医学講座にて解析されます。この研究参加はいつでも可能です。また、拒否することで、何も不利益を被ることはありません。</p> <p>*フレイルとは、「加齢により心身が老い衰えた状態」のことです。しかしフレイルは、早く介入して対策を行えば元の健常な状態に戻る可能性があります。高齢者のフレイルは、生活の質を落とすだけでなく、さまざまな合併症も引き起こす危険があります。(健康長寿ネットを参照)</p> <p>*ロコモとは、運動器の障害のために移動機能の低下をきたした状態を「ロコモティブシンドロ</p>	

ーム」＝ロコモのことです。人間が立つ、歩く、作業するといった、広い意味での運動のために必要な身体の仕組み全体を運動器といいます。運動器は骨・関節・筋肉・神経などで成り立っていますが、これらの組織の障害によって立ったり歩いたりするための身体能力（移動機能）が低下した状態が、ロコモです。ロコモが進行すると、将来介護が必要になるリスクが高くなります。（ロコモ ON LINE を参照）

*サルコペニアとは、加齢による筋肉量の減少および筋力の低下のことを指します。サルコペニアになると、歩く、立ち上がるなどの日常生活の基本的な動作に影響が生じ、介護が必要になったり、転倒しやすくなったりします。また、各種疾患の重症化や生存期間にもサルコペニアが影響します。（健康長寿ネットを参照）

④申請番号	2022-0279
⑤研究の目的・意義	ウェルビーイング健診にて、運動習慣が無かった人がどれだけ翌年運動習慣を身につけているかを、特定健診の質問票内容を用いて、ウェルビーイング健診導入前の人間ドックのデータと比べて比較検討します。その他、体重変化、BMI 変化、検査値変化についても検討し、ウェルビーイング健診が適切な動機付けとなっているかを検証します。また、痩せている人が、適切な食事指導と運動指導の結果、体重に増加傾向が認められるかも評価します。
⑥研究期間	倫理審査委員会承認日から 2031 年 3 月 31 日まで
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	個人が特定できない形で、新潟県労働衛生が医学協会から新潟大学に情報が提供され、ウェルビーイング健診の効果について解析します。そのデータが、他の機関に提供されることはありません。
⑧利用または提供する情報の項目	ウェルビーイング健診の問診内容、体力測定結果、特定健診の質問票内容、年齢、性別、体重、BMI、血圧、糖質、脂質などの検査値です。
⑨利用する者の範囲	新潟大学 生活習慣病予防・健診医学講座 加藤 公則
⑩試料・情報の管理について責任を有する者	新潟大学 生活習慣病予防・健診医学講座 加藤 公則
⑪お問い合わせ先	本研究に対する同意の拒否や研究に関するご質問等ございましたら下記にご連絡をお願いします。 所属：生活習慣病予防・健診医学講座 氏名：加藤公則 Tel：025-227-2117 E-mail： kkato48@med.niigata-u.ac.jp 所属：新潟県労働衛生医学協会健康づくり推進部 氏名：田代 稔 Tel：025-370-1945

	E-mail : tashiro@niwell.or.jp
--	---